

第一回 宿題委員会報告

第一回宿題委員会は、昭和五十二年十一月二日、中央大学会館にて開催した。

○出席者 布施鉄治・黒崎八洲次良・菅野正・大川健嗣・島崎稔・蓮見音彦・安原茂・長谷川昭彦・似田貝香門・柿崎京一・松本通晴・山本陽三

○協議ならびに決定事項

一、宿題委員の構成について

さきに、大会総会において、各地区から一名ずつ宿題委員が選出された際に、残りの委員の選出については、共通課題を勧案して、地区委員から推薦してもらうことに決まった。この決定にもとづき推薦された委員を含め、つぎの各会員に本年度の宿題委員を依頼することになった。(○印は、地区の世話人)

北海道地区 ○布施鉄治・黒崎八洲次良

東北地区 ○菅野 正・大川健嗣

関東地区 ○島崎 稔・長谷川昭彦・蓮見音彦・安原 茂・似田

貝香門・柿崎京一

関西地区 ○余田博通・松本通晴・牧野由朗

西部地区 ○中村正夫・山本陽三

以上 一五名

二、本年度共通課題の原案について

去る柳川大会時において、次年度の共通課題の大枠は「農村の自治」と決定され、その細部の検討は、宿題委員会で検討し、原案作成して運営委員会で決定するという手順をとることになった。

当日の宿題委員会では、この「農村の自治」をめぐる活発な討議が行なわれたが最終的には、つぎのような結論に達した。

共通課題「農村自治—史的展開と現状—」

三、本年度研究会の開催方針について

研究会は、従来ややもすると東京主導型になりがちであったが、この点は改めて、各地区ごとの自主的な開催をたてまえとすることにした。従って、各地区の世話人を中心に、適宜主催する。但し、その際、つぎの諸点について申合せをした。

(1) 第一回は、なるべく早い機会に東京で開催し、共通課題の問題の所在を明らかにする。

(2) 各地区の研究会は、できるだけ五月中までに開催し、課題についての討議を深める。討議の内容は、その要点を地区宿題委員会において整理したものを逐次、研究通信に掲載する。

(3) 最終の研究会は、六月、おそくとも七月上旬までに、各地区の研究会の成果にもとづいて開催する。開催地は、会員の集合の便からして東京になる予定である。また、この時点で、大会時の共通課題の報告者を選定する。

(4) 以上の大綱に即し、その具体的な実施については、関東地区委員

にさらした検討して貰う(当日は、時間的に検討する余裕がなかったため、そうした便法をとることにした)。

以
上